

国内自動車メーカー7社の業績動向

2023年度は全社増収増益

2023年度(2024年3月期)の国内自動車メーカー7社の業績は、売上高95.9兆円(前期比+20.8%)、営業利益8.7兆円(同+79.6%)と伸長し、全社増収増益となりました。因みに、売上高は全7社で、営業利益は日産を除く6社で過去最高を更新しました(図表1)。

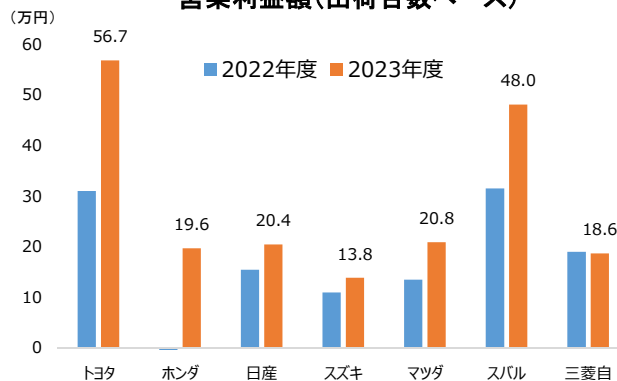
こうした好業績は、米国経済の好調持続や記録的な円安など良好な外部環境に加え、HV(ハイブリッド)車や大型SUV車等の高付加価値車種の導入拡大と原価改善等への取り組みの奏功によるもので、車両1台当たりの営業利益は多くの企業で大幅に増加しました(図表2)。

図表1 国内自動車メーカーの2023年度業績

メーカー	売上高		営業利益		販売台数	
		前期比		前期比		前期比
トヨタ	450,953	21.4	53,529	96.4	11,090	5.0
ホンダ	204,288	20.8	13,819	77.0	4,109	11.4
日産	126,857	19.7	5,687	50.8	3,442	4.1
スズキ	53,743	15.8	4,656	32.8	3,168	5.6
マツダ	48,277	26.2	2,505	76.4	1,241	11.8
スバル	47,029	24.6	4,682	75.0	926	12.8
三菱自	27,896	13.5	1,910	0.3	815	▲2.3
合計	959,043	20.8	86,788	79.6	24,971	14.7

(注)ホンダ、スズキの売上高・営業利益は二輪車を含む
(資料)各社決算資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表2 国内自動車メーカーの車両1台当たりの営業利益額(出荷台数ベース)



(注)営業利益、出荷台数とも二輪車を除く
(資料)各社決算資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

2024年度も好業績が続く見通し

2024年度(2025年3月期)の売上高は98.5兆円(前期比+2.7%)と引き続き増収ながら、営業利益は7.7兆円(同▲11.7%)と、減益を計画しています。ただし、その主要因はEVやソフトウェア等への積極的な研究開発投資によるもので、新車投入効果が見込まれるマツダなど4社は増益を計画しています(図表3)。

本年度の事業環境は、米国および中国をはじめとした海外経済の先行き不透明感や急激な為替変動といった懸念材料はありますが、日本メーカーの強みであるHV車や低燃費車人気の世界的な再拡大といった追い風も吹いており、当面は好業績が続くと期待されます。

図表3 国内自動車メーカーの2024年度業績見通し

メーカー	売上高		営業利益		販売台数	
		前期比		前期比		前期比
トヨタ	460,000	2.0	43,000	▲19.7	10,950	▲1.3
ホンダ	203,000	▲0.6	14,200	2.8	4,120	0.3
日産	136,000	7.2	6,000	5.5	3,700	7.5
スズキ	56,000	4.2	4,800	3.1	3,254	2.7
マツダ	53,500	10.8	2,700	7.8	1,400	12.8
スバル	47,200	0.4	4,000	▲14.6	-	-
三菱自	28,800	3.2	1,900	▲0.5	895	9.8
合計	984,500	2.7	76,600	▲11.7	-	-

(注)スバルの販売台数は未公表
(資料)各社決算資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当:土居(Tel.080-8984-8299)までお願いします。